

事務系派遣事業を営む営業所・支店の 運営に関する調査

平成 24 年 1 月

派遣営業所長・支店長各位

東京大学社会科学研究所 人材フォーラム
「派遣営業所・支店の運営に関する調査」チーム
佐藤博樹（研究会代表・東京大学社会科学研究所教授）
島貫智行（一橋大学大学院商学研究科准教授）
小林徹（慶応義塾大学大学院商学研究科博士課程）

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

人材派遣市場を取り巻く環境が激しくなるなか、派遣先企業への営業活動や派遣スタッフの雇用管理を進める上で、営業所・支店の運営やマネジメントのありかたが派遣会社にとって重要な経営課題となっています。このような問題関心から、私ども東京大学社会科学研究所人材フォーラム「派遣営業所・支店の運営に関する調査」チームでは、**事務系派遣事業を営む営業所・支店の運営の現状と課題を把握するとともに、派遣先への営業活動や派遣スタッフの雇用管理を効果的に進めるための営業所・支店のマネジメントを検討することを目的として、本調査を実施することにいたしました。**併せて、本調査では、2010 年上半期に実施された「専門 26 業務派遣適正化プラン」に伴う派遣営業所・支店や派遣先企業の対応についても検討する予定です。

つきましては、ご多忙中誠に恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、アンケート調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

調査は無記名方式で、ご記入いただいた内容は統計的に処理しますので、個々の方のご回答が特定されることはありません。また、ご勤務先の派遣会社があなた個人のご回答内容を知ることもありませんので、ありのままのご回答をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

ご回答いただいた営業所・支店には、調査結果の概要をお送りいたします。送付をご希望される方は、送付先を調査票の末尾にご記入ください。また、詳細な分析結果は、人材フォーラムの HP に掲載いたします。

なお、本調査は、科学研究費補助金（基盤研究(B)）「企業の外部人材の活用と戦略的人的資源管理」（課題番号：22330110）によって実施するものです。

敬具

< ご回答にあたってのお願い >

- **営業所長・支店長、もしくは営業所長・支店長に準じる方で営業所・支店の運営に関わっている方**にお願いいたします。
- ご記入は、黒または青のボールペン、濃い鉛筆などをご使用ください。
- 時期について特にことわりのない質問につきましては、**回答時点の状況**についてお答えください。
- 数字に関する質問などは、**概数**でかまいません。また、**答えにくい質問やわからない質問**とはばしていただいても構いませんので、最後の質問までご回答下さい。
- アンケート用紙は、東京大学社会科学研究所宛の**返信用封筒（切手は不要）**に入れて、**1月31日（火）までに、郵便ポストに投函**してください。
- ご回答にあたって不明な点がありましたら、下記までご連絡ください。

東京大学社会科学研究所 人材フォーラム（和田宛）

電子メール hrm@iss.u-tokyo.ac.jp

電話番号：03-5841-4875（直通：月・火・木・金の 10 時から 17 時まで）

<重要>

以下の設問で、**事務系派遣**とは、政令 26 業務のうち、「**5号事務用機器操作**」「**6号通訳、翻訳、速記**」「**7号秘書**」「**10号財務処理**」「**11号取引文書作成**」及び自由化業務の「**一般事務**」を指します。

貴営業所・支店についてお聞きします。

問1 貴営業所・支店の所在地をお答え下さい。(ひとつに)

1 東京圏(東京・神奈川・千葉・埼玉)	3 愛知圏(愛知・岐阜・三重)
2 大阪圏(大阪・京都・兵庫・奈良)	4 その他

問2 貴営業所・支店で行っている事業を全てお答えください。(当てはまるもの全てに)

1 一般派遣事業	2 特定派遣事業	3 紹介予定派遣事業
4 請負事業	5 その他	

付問2 - 1 (問2で「2」に回答した方にお聞きします)

貴営業所・支店では、事務系派遣事業に関して、**登録型以外の常用型派遣**を行っていますか。行っている場合は事務系派遣事業の売上高に占める常用型派遣の割合をお答えください。(ひとつに)

1 行っていない	2 10%未満	3 10~25%未満	4 25%以上
----------	---------	------------	---------

問3 貴営業所・支店の従業員数(正社員と非正社員の合計)及び外勤営業、内勤の人数をお答えください。(それぞれ当てはまる番号(1から5)をひとつ選びをつけて下さい)

	5名未満	5~10名未満	10~20名未満	20~30名未満	30名以上
A. 貴営業所・支店の従業員数 (正社員と非正社員の合計)	1	2	3	4	5
B. うち外勤営業 (営業担当者など/営業所長・支店長を含む)	1	2	3	4	5
C. うち内勤 (コーディネーター、登録担当、営業事務職など)	1	2	3	4	5

問4 貴営業所・支店の全従業員に占める正社員の割合、正社員に占める中途採用者及び女性の割合をお答えください。(それぞれ当てはまる番号(1から5)をひとつ選びをつけて下さい)

	20%未満	20~40%未満	40~60%未満	60~80%未満	80%以上
A. 全従業員に占める正社員の割合	1	2	3	4	5
B - 1. 正社員に占める中途採用者の割合	1	2	3	4	5
B - 2. 正社員に占める女性の割合	1	2	3	4	5

問5 貴営業所・支店における事務系派遣事業の2011年度年間売上高をお答えください。(数字を記入ください)併せて、2009年度と比較した増減についてお答えください。(ひとつに)

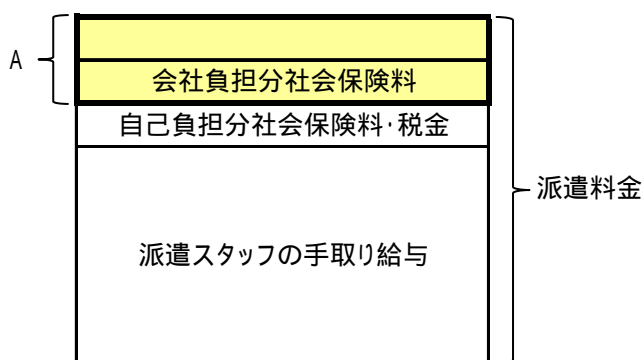
2011年度見込み	2009年度と比較して	
	増加した	減少した
_____百万円	1	2

問6 貴営業所・支店の事務系派遣事業の過去1年間の売上高は、貴営業所・支店の営業エリア内の同業他社と比べていかがですか。(ひとつに)

1 良い	2 やや良い	3 同じくらい
4 やや悪い	5 悪い	6 わからない

問7 貴営業所・支店の事務系派遣事業において、派遣料金に占めるAの部分の比率はどの程度ですか。(ひとつに)

- 1 5%未満
- 2 5～10%未満
- 3 10～15%未満
- 4 15～20%未満
- 5 20～25%未満
- 6 25～30%未満
- 7 30～35%未満
- 8 35%以上



問8 貴営業所・支店の外勤営業担当者(正社員、非正社員の合計)の平均勤続年数をお答えください。(ひとつに)

1 1年未満	2 1～2年未満	3 2～3年未満
4 3～5年未満	5 5～10年未満	6 10年以上

問9 貴営業所・支店が事務系派遣の取引をしている派遣先企業数を以下の各時点についてお答えください。(それぞれ当てはまる番号(1から7)をひとつ選びをつけて下さい)

	1社 専属	2～50 社未満	50～ 100社 未満	100～ 200社 未満	200～ 500社 未満	500社 以上	派遣 して いない
A . 2011年10月末時点	1	2	3	4	5	6	7
B . 2009年10月末時点	1	2	3	4	5	6	7

問 10 貴営業所・支店が取引している派遣先企業について、事務系派遣事業の取引金額が最も多い業種をお答え下さい。(ひとつに)

1 農林漁業	11 学術研究，専門・技術サービス業
2 鉱業，採石業，砂利採取業	12 宿泊業，飲食サービス業
3 建設業	13 生活関連サービス業，娯楽業
4 製造業	14 教育，学習支援業
5 電気・ガス・熱供給・水道業	15 医療，福祉
6 情報通信業	16 複合サービス事業
7 運輸業，郵便業	17 サービス業（他に分類されないもの）
8 卸売業，小売業	18 公務（他に分類されるものを除く）
9 金融業，保険業	19 上記以外
10 不動産業，物品賃貸業	

問 11 貴営業所・支店の 2011 年 10 月 1 ヶ月間の事務系派遣における求人依頼数、就業成約人数をそれぞれご記入ください。(数字を記入。いない場合は 0 を記入ください)
併せて、2009 年 10 月と比較した増減についてお答えください。(それぞれひとつに)

	2011 年 10 月	2009 年 10 月と比較して	
		増加した	減少した
A．新規求人依頼数（既存取引先での交代を含み、更新を除く）	_____人	1	2
B．新規就業成約人数（既存取引先での交代を含み、更新を除く）	_____人	1	2

問 12 貴営業所・支店の事務系派遣スタッフの稼働人数、「5 号事務用機器操作」及び「自由化業務の一般事務」の稼働人数をお答えください。(数字を記入。いない場合は 0 を記入ください)
併せて、2009 年 10 月と比較した増減についてお答えください。(ひとつに)

	2011 年 10 月末時点	2009 年 10 月末時点と比較して	
		増加した	減少した
A．事務系派遣スタッフの稼働人数	_____人	1	2
B．うち「5 号事務用機器操作」スタッフの稼働人数	_____人	1	2
C．うち「自由化業務の一般事務」スタッフの稼働人数	_____人	1	2

問 13 貴営業所・支店の事務系派遣スタッフについて、稼働人数が多い職種を 2 つお答え下さい。(それぞれひとつに)

	A．最も多い	B．2 番目に多い
5 号事務用機器操作	1	1
6 号通訳、翻訳、速記	2	2
7 号秘書	3	3
10 号財務処理	4	4
11 号取引文書作成	5	5
自由化業務の一般事務	6	6

問 14 貴営業所・支店の事務系職種の 2011 年 10 月中に契約終了時期がきた派遣スタッフのうち、

A： 契約が更新されずに派遣契約が終了したスタッフの割合

(他の派遣先に派遣できた者を含む)

B： 派遣契約終了者のうち、そのまま派遣先で直接雇用となった派遣スタッフの割合

をお答えください。(それぞれ当てはまる番号(1から5)をひとつ選びをつけて下さい)

	5%未満	5～10%未満	10～15%未満	15%以上	該当するスタッフはいない
A．契約が更新されずに派遣契約が終了した割合	1	2	3	4	5
B．契約終了者のうち派遣先の直接雇用となった割合	1	2	3	4	5

問 15 上記の A、B の割合は、2009 年度と比べてどうなっていますか。(それぞれ当てはまる番号(1から3)をひとつ選びをつけて下さい)

	増えた	減った	変わらない
A．契約が更新されずに派遣契約が終了した割合	1	2	3
B．契約終了者のうち派遣先の直接雇用となった割合	1	2	3

付問 15 - 1 (問 15 で「1」「2」に回答した方にお聞きします)

増えた理由又は減った理由としてあてはまるものをお選びください。

(それぞれ当てはまるもの全てに)

	A．契約が更新されずに派遣契約が終了した割合の増減理由	B．契約終了者のうち派遣先の直接雇用となる割合の増減理由
景気が悪化したため	1	1
派遣先企業の業績が悪化したため	2	2
派遣先企業の業績が改善したため	3	3
派遣先が派遣スタッフの正社員化に取り組んだため	4	4
派遣スタッフの正社員志向が強まったため	5	5
専門 26 業務派遣適正化プランが実施されたため	6	6
東日本大震災の発生による	7	7
貴社が派遣スタッフの直接雇用を推進したため	8	8
貴社が派遣スタッフの長期定着を推進したため	9	9
上記以外の理由	10	10

・派遣先への営業戦略や派遣スタッフの雇用管理、営業担当者の管理など、貴営業所・支店のマネジメントについてお聞きします。

問 16 事務系派遣事業について、貴営業所・支店が派遣先への営業戦略において重視しているものを3つ選んでください。(3つに)

- | |
|----------------------------|
| 1 新規派遣先の開拓 |
| 2 既存派遣先との取引の継続・拡大 |
| 3 派遣先企業の絞り込み・特化 |
| 4 派遣先の業種の絞り込み・特化 |
| 5 低価格での派遣サービスの提供 |
| 6 付加価値の高い派遣サービスの提供 |
| 7 派遣スタッフの迅速な配置 |
| 8 派遣先のニーズに対応した派遣スタッフの登録・配置 |
| 9 派遣職種の絞り込み・特化 |
| 10 派遣職種の拡大 |
| 11 派遣地域の拡大 |
| 12 紹介予定派遣の拡大 |
| 13 派遣以外の事業(請負など)への転換 |
| 14 派遣以外の事業(請負など)への多角化 |
| 15 親会社やグループ企業への派遣の拡大 |
| 16 その他(具体的に記入:) |
| 17 営業戦略において重視しているものはない |

問 17 貴営業所・支店で稼働している事務系派遣スタッフとの書面上の雇用契約期間で最も多いものをお答えください。(ひとつに)

1 3ヵ月未満	4 6ヵ月	7 1年超
2 3ヶ月	5 6ヵ月超～1年未満	
3 3ヶ月超～6ヵ月未満	6 1年	

問 18 貴営業所・支店が取引する派遣先企業のうち、貴営業所・支店が事務系派遣料金の改定交渉を定期的実施している割合をお答えください。(ひとつに)

1 1割未満	4 4～6割未満	7 全て
2 1～2割未満	5 6～8割未満	8 定期的ではなく個別に行っている
3 2～4割未満	6 8割以上	9 改定交渉はしていない

付問 18 - 1 (問 18 で「1」～「8」に回答した方にお聞きします)

派遣料金の引き上げに向けた改定交渉をする場合、どのようなことを考慮していますか。

(当てはまるもの全てに)

- | |
|--------------------------|
| 1 派遣先での派遣スタッフの業務内容の高度化 |
| 2 派遣先での派遣スタッフの就労期間 |
| 3 派遣スタッフの働きぶりや成果 |
| 4 派遣スタッフの技能水準 |
| 5 貴社・営業所・支店での派遣スタッフの勤続期間 |
| 6 派遣スタッフの賃金の上昇 |
| 7 その他 |

問 19 貴営業所・支店が事務系派遣スタッフの雇用管理において重視しているものを3つ選んでください。(3つに)

- | | |
|----|--------------------------------|
| 1 | 派遣スタッフが希望する内容の仕事への配置 |
| 2 | 派遣スタッフの技能水準に応じた配置 |
| 3 | 派遣スタッフの技能が向上する派遣先への配置 |
| 4 | 有料の教育訓練の充実 |
| 5 | 無料の教育訓練の充実 |
| 6 | 派遣スタッフの登録者数の拡大 |
| 7 | 質の高い派遣スタッフの登録 |
| 8 | 派遣スタッフの能力や働きぶりの評価 |
| 9 | 派遣スタッフの派遣先への定着 |
| 10 | 派遣スタッフの貴社への定着 |
| 11 | 派遣スタッフの継続就労・雇用の安定化 |
| 12 | 長期間働ける派遣先の開拓 |
| 13 | 他の派遣会社よりも高い賃金の設定 |
| 14 | 正社員転換希望者への支援 |
| 15 | 派遣スタッフのニーズに合った福利厚生の充実 |
| 16 | 派遣スタッフのキャリア形成に関する面談・カウンセリングの充実 |
| 17 | 派遣スタッフの相談体制・苦情受付処理体制の整備 |
| 18 | その他(具体的に:) |
| 19 | 派遣スタッフの雇用管理において重視しているものはない |

問 20 2011年10月末時点での貴営業所・支店の事務系派遣スタッフの平均的な賃金水準(時給換算)はどの程度ですか。日給制や月給制の場合も、時給に換算してお答え下さい。(ひとつに)

1	1000 円未満	7	1500 ~ 1600 円未満
2	1000 ~ 1100 円未満	8	1600 ~ 1700 円未満
3	1100 ~ 1200 円未満	9	1700 ~ 1800 円未満
4	1200 ~ 1300 円未満	10	1800 ~ 1900 円未満
5	1300 ~ 1400 円未満	11	1900 ~ 2000 円未満
6	1400 ~ 1500 円未満	12	2000 円以上

問 21 貴営業所・支店には、事務系派遣スタッフの賃金を定期的に昇給させる制度・仕組みがありますか。(ひとつに)

- | | |
|---|--------------------------|
| 1 | 昇給の制度・仕組みがある |
| 2 | 昇給の制度・仕組みはないが、個別に昇給させている |
| 3 | 昇給させることはない |

付問 21 - 1 (問 21 で「 1 」「 2 」に回答した方にお聞きします)

事務系派遣スタッフの賃金を昇給させる際、どのようなことを考慮していますか。

(当てはまるもの全てに)

- 1 派遣先での派遣スタッフの業務内容の高度化
- 2 貴社・営業所・支店での派遣スタッフの勤続期間
- 3 派遣スタッフの年齢
- 4 派遣スタッフの働きぶりや成果
- 5 派遣スタッフの技能水準
- 6 派遣先での派遣スタッフの就労期間
- 7 派遣料金の上昇
- 8 その他

問 22 貴営業所・支店の外勤営業担当者 (正社員・非正社員) の仕事内容として当てはまるものを全て選んでください。(当てはまるもの全てに)

- 1 派遣スタッフの登録も通常業務として担当している
- 2 マッチング業務も通常業務として担当している
- 3 派遣スタッフのフォローも通常業務として担当している
- 4 派遣先の営業だけに専念している
- 5 新規開拓の営業担当者と、既存取引先への深耕営業担当者が明確に区分されている

問 23 貴営業所・支店の業務をサポートしている本社や事業部管轄の専門部署はありますか。

(当てはまるもの全てに)

- 1 マッチングを担当する専門部署
- 2 派遣スタッフの募集・登録を担当する専門部署
- 3 就労中の派遣スタッフのフォローを担当する専門部署
- 4 取引のある派遣先企業のフォローを担当する専門部署
- 5 派遣スタッフの給与計算や保険手続きなどを担当する専門部署
- 6 上記の専門部署はない

問 24 貴営業所・支店で行なっているものをお答えください。(当てはまるもの全てに)

- 1 営業方針の策定
- 2 営業業務のマニュアルの整備
- 3 事務業務のマニュアルの整備
- 4 貴社の戦略や業績に関する情報共有
- 5 派遣業界の市況に関する情報共有
- 6 トラブル対応や営業活動に関する事例勉強会
- 7 営業担当者に対する日常的な指導・育成
- 8 営業担当者に対する定期的な教育訓練の実施
- 9 営業担当者に対する目標管理や評価の実施
- 10 営業担当者との個人面談
- 11 営業担当者が担当する派遣先の定期的な変更
- 12 営業担当者の内勤から外勤への (内勤から外勤への) 配置転換
- 13 日報やメールによる進捗管理の徹底
- 14 営業所員との懇親会や交流会の実施
- 15 その他 (具体的に :)

問 25 貴営業所・支店の運営に関する課題や問題点についてあてはまるものを全てお答えください。
(当てはまるもの全てに)

- 1 営業担当者が定着しない
- 2 営業担当者が一人前になるまでに時間がかかる
- 3 一部の営業担当者に過度に仕事が集中している
- 4 営業担当者の残業時間が長い
- 5 営業担当者のモチベーションが低い
- 6 営業所内のトラブルが多い
- 7 取引先のニーズに対応できていない
- 8 営業ノウハウが蓄積・伝承しにくい
- 9 派遣先からの苦情が多い
- 10 派遣スタッフからの苦情が多い
- 11 派遣スタッフが派遣先に定着しない
- 12 派遣スタッフが貴社に定着しない
- 13 その他(具体的に:)
- 14 課題や問題点はない

・ 貴営業所・支店をマネジメントしている営業所長や支店長についてお聞きします。

問 26 営業所長・支店長の性別をお答えください。(ひとつに)

- 1 男性 2 女性

問 27 営業所長・支店長の年齢をお答えください。(数字をご記入ください)

歳

問 28 営業所長・支店長は貴社に新卒入社ですか。それとも中途入社ですか。(ひとつに)

- 1 新卒入社 2 中途入社

問 29 営業所長・支店長の貴社における勤続年数をお答えください。

(数字を記入。1年未満の場合には0年とご記入下さい)

年

問 30 営業所長・支店長の人材派遣業における外勤営業業務の経験年数(他の派遣会社での経験を含めて)をお答え下さい。(数字を記入。1年未満の場合には0年とご記入下さい)

年

問 31 営業所長・支店長がこれまで経験した業務（他の派遣会社での経験を含めて）として該当するものを選んでください。（当てはまるもの全てに ）

1 人材派遣業におけるマッチング業務
2 人材派遣業における他の営業所・支店での所長業務
3 請負事業
4 職業紹介事業
5 人材ビジネス以外の営業業務
6 人材ビジネス以外のマネジメント経験（部長・課長・店長など）
7 その他（具体的に： _____）

問 32 営業所長・支店長の1週間の労働時間のうち、多くの時間を占めている業務を3つお答えください。（3つに ）

1 派遣先への営業訪問 （営業所長としてのトップセールス）	6 営業所内の会議
2 外勤営業担当者に同行して派遣先の訪問	7 営業所員に対する研修
3 派遣先のクレーム処理	8 営業所員との面談
4 派遣スタッフのクレーム処理	9 営業所・支店の営業戦略の策定
5 営業所の事務処理	10 本社との打合せ・調整・交渉
	11 その他

問 33 営業所長・支店長の決済金額の上限をお答えください。（ひとつに ）

1 10万円未満	2 10～50万円未満	3 50～70万円未満
4 70～100万円未満	5 100万円以上	6 決裁権限がない

・2010年度（平成22年度）上半期に行われた「専門26業務派遣適正化プラン」への影響や対応についてお聞きします。

問 34 行政から貴営業所・支店への指導・要請について当てはまるものを選んでください。（当てはまるもの全てに ）

1 営業所に行政の訪問があった	5 行政・本社のいずれからも指導はなかった
2 取引先に行政の訪問があった	6 専門26業務派遣適正化プランを知らない
3 電話や文書等で行政からの指導があった	7 その他
4 本社からの指導があった	

問 35 専門26業務派遣適正化プランへの対応として、貴営業所・支店が行った対応を選んでください。（当てはまるもの全てに ）

1 業務見直しを行い、自由化業務から専門業務への契約移行の派遣先への交渉	6 契約に関する事務管理の徹底
2 紹介予定派遣への契約の切り替えの派遣先への交渉	7 専門26業務の職種への営業強化
3 受注時の業務見直しを派遣先へ交渉	8 自由化業務を出来るだけ取り扱わない
4 派遣期間抵触日の派遣スタッフへの説明の徹底	9 人材紹介など、他人材サービス事業への注力
5 派遣期間抵触日の派遣先への説明の徹底	10 特に対応を行っていない
	11 専門26業務派遣適正化プランをよく知らなかった

問 36 専門 26 業務派遣適正化プランへの対応として、派遣先が行っている対応について主なものをお答えください(当てはまるもの全てに)

- | | |
|----|---------------------------------|
| 1 | 業務の見直し、自由化業務から専門 26 業務への移行 |
| 2 | 自由化業務に従事する派遣スタッフの正社員への移行 |
| 3 | 自由化業務に従事する派遣スタッフの正社員以外の直接雇用への移行 |
| 4 | 期間限定の依頼など、派遣期間を明確にした派遣依頼の発注 |
| 5 | 派遣スタッフを減らし、新規の直接雇用で対応 |
| 6 | 派遣スタッフを減らし、現状の直接雇用者で業務に対応 |
| 7 | 派遣から請負への見直し |
| 8 | 特に対応を行っていない |
| 9 | 派遣先は専門 26 業務派遣適正化プランをよく知らない |
| 10 | 派遣先の対応を把握していない |

問 37 専門 26 業務派遣適正化プランによって貴営業所・支店に生じた影響を全て選んでください。(当てはまるもの全てに)

- | | |
|---|-----------------------------|
| 1 | 事務系自由化業務の派遣求人が減った |
| 2 | 事務系自由化業務の派遣スタッフの求職者が減った |
| 3 | 派遣期間が抵触したため、離職する派遣スタッフが増えた |
| 4 | 抵触期間後に正社員として直接雇用されるスタッフが増えた |
| 5 | 抵触期間後に正社員以外で直接雇用されるスタッフが増えた |
| 6 | 以上のいずれも該当しない |

貴営業所・支店が属する会社全体についてお聞きします。

問 38 直近の決算期における、貴社全体および事務系派遣事業の売上高をお答えください。(それぞれ当てはまる番号(1から9)をひとつ選びをつけて下さい)

	A. 貴社全体の売上高	B. 事務系派遣事業の売上高
1000 万円未満	1	1
1000 ~ 5000 万円未満	2	2
5000 万円 ~ 1 億円未満	3	3
1 ~ 2 億円未満	4	4
2 ~ 5 億円未満	5	5
5 ~ 10 億円未満	6	6
10 ~ 20 億円未満	7	7
20 ~ 50 億円未満	8	8
50 億円以上	9	9

問 39 貴社は独立系の派遣会社ですか。それとも資本系の派遣会社ですか。(ひとつに○)

- | | | | |
|---|-----|---|-----|
| 1 | 独立系 | 2 | 資本系 |
|---|-----|---|-----|

問 40 貴社はいわゆる外資系の派遣会社ですか。(ひとつに○)

- | | | | |
|---|----|---|-----|
| 1 | はい | 2 | いいえ |
|---|----|---|-----|

(質問は以上です。最後まで回答にご協力いただき、ありがとうございました。)